



2019年5月15日

各位

会社名 株式会社 オプティム
 代表者名 代表取締役社長 菅谷 俊二
 (コード番号: 3694 東証第一部)
 問合せ先 管理担当取締役 林 昭宏
 (TEL. 03-6435-8570)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

昨年5月15日の2018年3月期決算短信発表時に開示した2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期業績予想との差異(2018年4月1日~2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	5,060	1 ~1,000	1 ~1,000	0 ~620	0.02 ~22.53
今回実績(B)	5,468	96	145	11	0.41
増減額(B-A)	408	95 ~△903	144 ~△854	10 ~△608	
増減率(%)	8.1	※1 △90.4	※1 △85.4	※1 △98.2	
(参考) 前期実績 (2018年3月期)	4,210	401	404	453	16.92

※1. 上限に対する増減率を記載しております。下限に対する増減率については、営業利益の増減率は9,549.3%、経常利益の増減率は14,452.7%、当期純利益の増減率は1,719.6%です。

2. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

公表しておりました通り、激化するAI・IoTの先端技術開発競争を勝ち抜き第4次産業革命において中心的な役割を果たすために、OPTiM Cloud IoT OS及びそれに基づくサービスやソリューションの開発への集中的な研究開発投資を行ってまいりました。研究開発は、概ね期初の計画通り推移し、その成果は、AI画像解析技術で各業界特有の課題解決を実現するパッケージサービス「OPTiM AI Camera」、定量データ解析サービス「OPTiM AI Prediction」などのサービスとして発表させていただいております。また、あらゆる産業とAI・IoT・Robotを融合させる「○○xIT」の取り組みとして、九州電力株式会社との「戦略的提携」に関する契約締結や、株式会

社シスメックスとの「先端医療×AI・IoT」領域にて業務提携に関する基本合意書締結をはじめとして、各業種において進捗しております。

その結果、レンジ形式で予想開示をしておりました当社営業利益、経常利益、当期純利益について、レンジの範囲内で上記のとおりの実績となりました。

以 上